

令和2年度 学習案内 (シラバス)

教科	音楽	学年	1	担当者	上野 道夫
----	----	----	---	-----	-------

◇ 音楽科の目標

- (1) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を養い、音楽によって生活を明るく豊かなものにする態度を育てる。
- (2) 多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、基礎的な表現の技能を身に付け、創意工夫して表現する能力を高める。
- (3) 多様な音楽のよさや美しさを味わい、幅広く主体的に鑑賞する能力を高める。

◇ 1年間の学習計画

月	学習内容	月	学習内容
6	のびのびと自然な歌声で歌う (4時間)	11	日本の伝統音楽に親しもう (4時間)
7	情景を表した音楽を味わう (2時間)	12	リコーダーの基礎を身につけよう (3時間)
8	合唱の豊かな響きを楽しもう (5時間)	1	独唱に親しもう (2時間)
	リズムの基礎を身につけよう (4時間)	2	地域や諸民族の音楽に親しもう (3時間)
9		3	歌詞の内容を合唱で表現しよう (5時間)
10	声部の役割を考えて合唱しよう (6時間)		世界の伝統音楽に親しもう (2時間)
	情景を表した楽曲を味わう (2時間)		

◇ 評価方法

評価の観点 (身に付けたい力)		評価の方法	%
関心・意欲 態度	音楽に関心を持ち、意欲的に学ぶことができる。	<ul style="list-style-type: none"> 授業での課題に対する反応観察 実技発表での意欲課題に対する到達度 定期テスト ワークシート、楽譜書込み 	25
表現の創意工夫	楽曲の特徴を生かすための表現を自分の思いや意図をもって工夫することができる。	<ul style="list-style-type: none"> 授業での課題に対する反応観察 実技発表での創意工夫課題に対する到達度 定期テスト 	25
表現の技能	表現に必要な基礎的な技能を使って演奏することができる。	<ul style="list-style-type: none"> 授業での課題に対する反応観察 実技発表での技能課題に対する到達度 	25
鑑賞の能力	楽曲の特徴や自分が感じたことを言葉にすることを通して、より深く味わうことができる。	<ul style="list-style-type: none"> 授業での発言・発表内容 ワークシート 定期テスト 	25

◇ 学習のアドバイス

各学年の題材で、『聴く・感じ取る・考える・表現する』という一連の流れを意識して、自分から進んで学習に取り組むことが大切です。技能は毎時間自分の体や声と向き合っ、少しずつ変化させていくことの積み重ねによって習得できます。